

おひさま通信

2016年
6月号



「飯田自然エネルギー大学」が開校しました

おひさま進歩エネルギー株式会社の新規事業として、太陽光や小水力、バイオマスなど地域に根ざした自然エネルギー事業の起業者を育成する「飯田自然エネルギー大学」が開校しました。5月28日に開かれた開校式と第1回授業には、書類選考で選ばれた27名の受講生が出席しました。

開校式では、おひさま進歩エネルギー株式会社代表取締役の原、京都大学大学院経済学研究科教授で学長でもある諸富徹先生があいさつ。来賓の牧野光朗飯田市長からは「円卓の地域主義—共創の場づくりから生まれる善い地域とは—」をテーマに、飯田市の環境施策やまちづくりについて講演をいただきました。

開校式に続いて行われた講義「再生可能エネルギーによる地域再生—飯田市を事例に」は諸富学長が講師を務めました。翌日は実地研修として、おひさま発電所第1号の明星保育園を視察。先生方から園での環境教育の実践について話を聞きました。

これから2年間、講義と実地研修を組み合わせた授業を年10回、飯田市旧飯田測候所を拠点に開催して起業を目指す受講生を後押ししていきます。



実地研修が行われた明星保育園（おひさま発電所第1号）

「みんなとおひさまファンド」のご報告

全国6市の自然エネルギー事業に出資する「みんなとおひさまファンド」は3月1日に募集を終了しました。多くの皆様よりご出資をいただき、誠にありがとうございました。

＜みんなとおひさまファンド A 号匿名組合＞ 177件 1412口 1億4120万円

＜みんなとおひさまファンド B 号匿名組合＞ 86件 297口 1億4850万円

合計263件 2億8970万円

「みんなとおひさまファンド」を活用して実施されている各地の事業の様子を紹介します。

■兵庫県三木市「蓮花寺太陽光発電事業 2015」(NPO 法人播磨の国おひさま進歩)

三木市では環境エネルギー事務所が置かれている蓮花寺の敷地内で平成24年から太陽光発電事業が行われています。今春には、みんなとファンド出資金を活用した北第3期発電所が完成して、運用が始まっています。パネルを設置した土地は、住職のご好意によりすべて無償で貸していただいています。



完成した北第3期発電所

■奈良県生駒市「いこま太陽光発電事業」(一般社団法人市民エネルギー生駒)

生駒市では市民発電所2号機(生駒市南こども園)、市民発電所3号機(生駒市小瀬町の法面)の太陽光発電工事が行われました。4月24日には小紫生駒市長や山下前市長、おひさま進歩社代表取締役の原も出席して完成記念式が開催されました。式典では設備の概要報告や現地見学会も行われました。



市民発電所2号機の見学会

■三重県伊賀市「エコ忍者プロジェクト 2015」(合同会社三重あおぞらエネルギー)

伊賀市では市内西の澤にある農舎屋根に太陽光パネルを設置する工事が行われました。設置工事は完了して、中部電力との連系に向けた準備が進められています。



農舎屋根に設置されたパネル

■長野県大町市「大町おひさま発電所」(おひさま進歩9号株式会社)

大町市では旭町、舘ノ内Ⅰ、舘ノ内Ⅱ、松崎の4つの太陽光発電所が完成して、2月に竣工式典を行いました。6月には発電所の草刈作業をして、草丈が伸びてパネルに影がでたり、隣接する田畑にご迷惑をかけないように対処しています。これからも発電所を丁寧に見守って運転していきます。



旭町発電所の草刈作業(6月中旬)

■長野県飯田市「メガさんぽおひさま発電所 2015」(おひさま進歩9号株式会社)

飯田市と南信州地域では時又ふれあいセンターや阿南町役場など8ヶ所で太陽光パネル設置工事が行われて発電を開始しました。このうち生徒の発案でパネルが設置された飯田市立旭ヶ丘中学校は、学校と行政、地域、事業者が協働して取り組み、飯田市の地域公共再生可能エネルギー活用事業の認定を受けました。



旭ヶ丘中の再エネ活用事業認定式

■鳥取県鳥取市「とっとり太陽光発電事業」(市民エネルギーとっとり)

鳥取市では太陽光発電所第2号機(とりちく食肉加工場・直売所)、第3号機(市内覚寺の県有地)が完成。5月21日に関係者20名余りが出席して完成見学会が行われました。第3号機は野立てパネルで、架台の一部に県産材も使用されました。鳥取では今年度も第4号機、第5号機の工事が行われます。



完成した第2号機を見学する関係者

銀座NAGANO「自然エネルギー報告&交流会」【開催日：1月11日】

東京の銀座NAGANOで「自然エネルギー報告&交流会」を行い、首都圏のファンド出資者の皆さんをはじめ、自然エネルギーに関心をお持ちの方など約30名にご参加いただきました。おひさま進歩社をはじめ長野県内でエネルギー事業に取り組む3事業者から事業内容を報告して、後半の意見交換会では来場者から事業への質問や想いをお聞きしました。「おひさま0円システムの仕組みを知りたい」「おひさま社のスタッフはどんな人がいるの？」など幅広いご質問をいただきました。



このように直接お声を聞く機会は私たちの励みになりますし、今後の事業に生かしていきたいと思えます。

「第13回おひさま発電所出資者ツアー」【開催日：3月26、27日】



飯田市のおひさま発電所などを訪問する「第13回おひさま発電所事業見学ツアー」を開催しました。

初日は飯田市で7年に1度開かれる「飯田お練り祭り」を見学して、2日目は「みんなとおひさまファンド」でパネルが設置された旭ヶ丘中学校のほか、省エネルギーやバイオマスの導入施設等を訪問しました。

旭ヶ丘中では太陽光発電施設の開所式に出席して、学校関係者や地域の方々、生徒さんからお話を聞くことができました。

次回の出資者ツアーは、南信州を飛び出して、ファンド再投資先の訪問を予定しています。

電力小売自由化スタート

4月から電力小売りが全面的に自由化されました。たくさんの会社が電気の販売を始めて、割安な料金やセット割引など様々なプランが選べるようになります。新電力への切り替えは6月までに100万件を超えています。私たちも、再エネ100%でおひさま発電所の電気を選んでもらえるようにしたいという想いで事業化を検討しましたが、制度上の課題など、今すぐには難しいのが現状です。

電力会社選びでは、月々の料金はもちろん、どういう電気を使っているかということも気になるポイントです。会社によっては電源の構成比を公開しているので、これを参考に再エネの比率が高い会社を選ぶと良いかもしれません。

また、いわゆる「地域新電力」と呼ばれる電力会社の中には、再エネを重視するところが多く、例えば地域新電力同士が電気を融通したり、共同で調達をするようになれば面白い形になるかもしれません。私たちも引き続き機会を探っていきたいと思います。

(おひさま進歩エネルギー(株)・海部岳裕)



小水力発電研修レポート

昨年度に行われた「小水力発電インテグレーター研修」に参加しました。これは全国小水力発電利用推進協議会が企画した研修で、小水力発電の事業化のための基礎知識を通年で学ぶものです。

年に10回程度のセミナーで、講義だけでなく、発電所の視察や水量調査の実習、あるいは実践者との交流会など、とても有意義な内容でした。同じ思いをもつ仲間にも知り合うことができました。

この研修の経験を元に、南信州でも小水力発電事業をぜひ実現したいと思っています。

(おひさま進歩エネルギー(株)・蓬田裕一)



静岡市での水量調査実習

解説コラム「おひさまモニター」(太陽光発電遠隔監視システム)



お客様のパソコンやスマートフォンで発電状況を確認できます

事業として太陽光発電所を手がける企業様や、現在のお住まいから遠く離れた発電施設の稼働状況が気になるオーナー様など、さまざまなお客様のご要望やご期待に応え、今日も発電施設を見守っています。

(おひさま進歩エネルギー(株)・田中聡)

おひさま進歩エネルギー株式会社

長野県飯田市馬場町3丁目411番地/TEL: 0265-56-3711

おひさまエネルギーファンド株式会社・NPO法人南信州おひさま進歩